



眼科検査の重要性

「なんとなく見えているから大丈夫」「度が合わないけど、まだ使える」そう思っていませんか？しかし、目の健康と快適な視生活のためには、「正しい視力検査」が不可欠です。

◆ 最適な見え方の実現と不快症状の防止

不正確なメガネやコンタクトレンズは、知らず知らずのうちに眼精疲労、頭痛、肩こり、集中力低下などを引き起こします。見えにくい状態での無理なピント合わせは、目に大きな負担をかけています。正しい検査に基づく眼鏡の処方箋が、クリアで快適な視界の基本です。

◆ 眼疾患の早期発見・早期治療

視力低下だけでなく、緑内障、白内障、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性といった、初期には自覚症状が現れにくい重大な眼疾患を発見できるのが、専門的な検査の大きな利点です。これらは視力測定だけでは見抜けません。眼圧測定や精密な眼底検査など、総合的なチェックにより、早期発見・早期治療に繋げることができます。

◆ お子様の健やかな成長のために

見え方の問題は、学習意欲や運動能力にも影響を与えかねません。特に小さなお子様は、見えにくさを自分から訴えられないこともあります。適切な視力の発達をサポートするためにも、**定期的な視力検査が大切**です。

黄砂と結膜炎

春（3月～5月）は、大陸から飛来する黄砂のシーズンです。この時期に目のかゆみ、充血、ゴロゴロとした異物感、目やになどの「結膜炎」の症状を訴える方が増えます。

黄砂の微粒子は、それ自体が物理的な刺激となって目を傷つけたり、炎症を起こしたりします。さらに、粒子には花粉やホコリ、大気汚染物質などが付着していることも多く、これらがアレルギー反応を引き起こす原因にもなります。

予防のため、黄砂が多い日の外出は保護メガネを着用し、帰宅後は手洗い洗顔を中心に心がけましょう。症状が辛い場合は、我慢せずに早めに当院にご相談ください。